

この安全データシートは以下の要件に準拠している: JIS Z 7253:2012

改訂日 2024-03-13

改訂番号 2

1. 化学品及び会社情報

リクイチェック 感染症コントロール HIV-1 gO 化学品の名称

カタログ番号 00113, 00113X

登録番号 12071

安全データシート の供給者の詳細

本社 製造者 日本法人/連絡先住所

Bio-Rad Laboratories Inc. Bio-Rad Laboratories Inc. 140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 1000 Alfred Nobel Drive 9500 Jeronimo Road Hercules, CA 94547 Irvine, California 92618 天王洲セントラルタワー20F USA USA バイオ・ラッド ラボラトリーズ

株式会社

テクニカルサービス 0120-996598

diag_jp@bio-rad.com CHEMTREC (ケムトレック):81-345209637 緊急連絡電話番号

化学品の推奨用途及び使用上の制限

生体外(In vitro)診断 情報なし 推奨用途 使用上の制限

2. 危険有害性の要約

| GHS 分類 | |
|--------------------|-------------------|
| 急性毒性(経口) | 分類できない |
| 急性毒性(経皮) | 分類できない |
| 急性毒性(吸入) - ガス | 区分に該当しない |
| 急性毒性(吸入) - 蒸気 | 分類できない |
| 急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト | 分類できない |
| 皮膚腐食性/刺激性 | 分類できない |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | 分類できない |
| 呼吸器感作性 | 分類できない |
| 皮膚感作性 | 区分 1A |
| 生殖細胞変異原性 | 分類できない |
| 発がん性 | 分類できない |
| 生殖毒性 | 分類できない |
| 授乳に対する又は授乳を介した影響 | 授乳に対する又は授乳を介した影響は |
| | ない |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく 露) | 分類できない |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 分類できない |
| 誤えん有害性 | 区分に該当しない |
| 水生環境有害性 短期(急性) | 区分 3 |
| 水生環境有害性 長期(慢性) | 区分 3 |
| オゾン層への有害性 | 分類できない |

<u>ラベル要素</u>



注意喚起語 警告

JGHS / JP ページ 1/7

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ 長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

- ・保護手袋/保護衣及び眼/顔面保護具を着用すること
- ・環境への放出を避けること

応急措置

・皮膚に付着した場合: 多量の水と石けん(鹸)で洗うこと

- ・皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること
- 保管
- :該当しない

廃棄

内容物/容器を適用される現地、地域、国、及び国際規則に従って廃棄すること

<u>他の危険有害性</u>

動物由来の成分が含まれています。(ヤギ)。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

| 化子物具 龙目物以巨洲 | | | | | | |
|------------------------------|------------|--------------|--------|----------------|--------|----------------|
| 化学名又は一般名 | CAS番号 | 重量% | 化審法インベ | 化審法番号 | 安衛法インベ | 安衛法番号 |
| | | | ントリ | | ントリ | |
| 5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと | 55965-84-9 | 0.001 - 0.01 | 既存 | (5)-5235,(9)-3 | 既存 | (5)-5235,(9)-3 |
| 2-メチル3(2H)-イソチアゾールオンの混合物 | | | | 78 | | 78 |

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

該当しない

労働安全衛生法

<u>通知対象物質</u> 該当しない

表示対象物質 該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

4. 応急措置

一般的なアド バイス 治療を行う医師にこのSDSを示すこと。

空気の新鮮な場所に移すこと。 吸入した場合

石けん(鹸)と水で洗うこと。 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。 皮膚の炎症又はアレルギー性反応が認められる場合には、医師の診察を受けること。 皮膚に付着した場合

眼に入った場合

人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 上下のまぶた(瞼)を持ち上げながら最低15分間多量の水でよく洗うこと。 医師に相談すること。 医師に連絡すること。 直ちに少なくとも15分間まぶた(瞼)の裏側まで多量の水で洗うこと。

飲み込んだ場合 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。 医師に連絡

すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な 掻痒感。 発疹。 じんま疹。

徴候症状

医師に対する特別な注意事項 過敏な人に感作を引き起こすおそれがある。 症状に応じて治療すること。 人体に由来する成分及び/又は感染性のおそれがある成分が含まれています。

ページ 2/7

5. 火災時の措置

適切な消火剤 現地の状況及び周囲環境に適した消火方法を用いること。

使ってはならない消火剤 高圧水で漏出物を散乱させないこと。

特有の危険有害性 製品は感作性物質である、又は感作性物質を含む。 皮膚接触により感作を引き起こすこと

がある。

特有の消火方法 水噴霧でドラムを冷却すること

警告:放水では十分な消火の効果が得られない場合がある。 大規模火災

消火活動を行う者の特別な保護具及び 消火を行う者は自給式呼吸器及び消火活動用の完全装備を着用しなければならない。 個人 予防措置 用保護具を使用すること。

6. 漏出時の措置

皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 指定された個人用保護具を着がけること。 人員を安全な区域に退避させること。 人員を漏出/ 人体に対する注意事項、保護具及び緊 急時措置

漏えい(洩)の風上に遠ざけること。

緊急対応を行う者のための保護具 項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。

環境に対する注意事項 環境影響情報の詳細情報については項目12を参照のこと。

封じ込め方法 いかなる下水管の中、地面上又はいかなる水域中にも侵入させないこと。

浄化方法 使用:。 殺菌剤。 汚染された表面を十分に浄化すること。

二次災害の防止策 汚染された物体及び区域を環境規則に従って十分に浄化すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

安全取扱注意事項

産業衛生安全対策規範に従って取り扱うこと。 皮膚、眼又は衣類との接触を避けること。 十分換気されているか確認すること。 換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用する。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 汚染された衣類を脱ぎ、 再使用する場合には洗濯をすること。

感染のおそれがある物質を取扱う場合は、一般的かつ標準的な予防措置に従ってくださ 衛生対策

保管

設備対策

容器を密閉して乾燥した涼しく換気のよい場所に保管すること。 製品とラベルの指示に従って保管してください。 安全な保管条件

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した職業被ばく 限界

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

生物学的職業性ばく 露限界値 この製品は、供給されたままの状態なら、地域独自の規制団体が制定した生物学的制限値

が設定された危険有害物質を一切含んでいない。

シャワー 洗眼場

換気システム

環境ばく 露防止 情報なし。

保護具

呼吸用保護具 通常の使用条件下では保護具は必要ない。ばく露限度を超えるか刺激が生じる場合には、

換気及び排気が必要になる。

手の保護具 適切な手袋を着用する。

眼及び/又は顔面の保護具 サイドシールド付き保護眼鏡(又はゴーグル)を着用すること。

皮膚及び身体の保護具 適切な保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的及び化学的性質に関する情報

外観 透明~半透明 物理状態 液体 色 ベージュ 臭い 無臭 臭いのしきい値 情報なし

特性 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 <u>値</u> データなし データなし **備考 · 方法** 情報なし 情報なし 一タなし 可燃性 情報なし 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

データなし 爆発又は可燃の上限界 データなし 爆発又は可燃の下限界 引火点 蒸発速度 自然発火点 該当しない 以データなし データなし データなし 分解温度

7.7-7.9

粘度

動粘性率 データなし 情報なし データなし 動的粘度 水と 混和

水への溶解度 データなし 溶解度 n ーオクタノール/水分配係数(log値)

データなし 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対密度 データなし

データなし 相対ガス密度 粒子特性

データなし 粒径 粒径分布 データなし 情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし

情報なし 情報なし 情報なし

情報なし 情報なし

該当しない 該当しない

その他の情報

爆発性 情報なし 酸化性 情報なし

10: 安定性及び反応性

反応性 情報なし。

化学的安定性 通常の条件下で安定。 危険有害反応可能性 通常の条件下で安定。

避けるべき条件 情報なし。

混触危険物質 提供された情報に基づき知見なし。 危険有害な分解生成物 提供された情報に基づき知見なし。

ページ 4/7

爆発データ

静電放電に対する感度 なし。 機械的衝撃に対する感度 なし。

11. 有害性情報

急性毒性

毒性の数値尺度 - 製品情報

情報なし

| 化学名又は一般名 | 経口LD50 | 経皮LD50 | 吸入 LC50 |
|----------------------|--------------------|--------------------------|---------|
| 5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソ | = 53 mg/kg (Rat) | = 87.12 mg/kg (Rabbit) | _ |
| チアゾールオンと2-メチル | | | |
| 3(2H)-イソチアゾールオンの | | | |
| 混合物 | | | |

略語及び頭文字

Rat: ラット Rabbit: ウサギ

症状 掻痒感、発疹、じんま疹。

製品情報

この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 飲み込むと胃腸刺激、吐き気、嘔吐、 及び下痢を引き起こすおそれがある。 経口

吸入 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚接触により感作を引き起こすことがある。この化学物質又は混合物の特定試験データはない。 反復又は長期にわたるばく 露による皮膚への接触は、敏感な人にアレルギー性反応を生じるおそれがある(成分に基づく)。 皮膚刺激。 皮膚接触

眼接触 この化学物質又は混合物の特定試験データはない。

皮膚腐食性/刺激性 分類できない。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

生殖細胞変異原性 分類できない。

発がん性 分類できない。

生殖毒性 分類できない。

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 分類できない。

誤えん有害性 区分に該当しない。

12. 環境影響情報

生態毒性 長期継続的影響によって水生生物に有害。

未知の危険有害性物質の濃度 混合物の0%は水生環境に対する危険有害性が未知の成分で構成されている。

残留性 分解性 情報なし。

生態蓄積性 この製品のデータはない。

成分情報

| 化学名又は一般名 | 分配係数 | |
|-----------------------------------|------|--|
| 5-クロロ-2-メチル-3(2H)-イソチアゾールオンと2-メチル | 0.7 | |
| 3(2H)−イソチアゾールオンの混合物 | | |
| 55965-84-9 | | |

土壌中の移動性 情報なし。

分類できない。 利用可能なデータに基づき、分類基準を満たさない。 オゾン層への有害性

他の有害影響 情報なし。

13. 廃棄上の注意

現地の規則に従って廃棄すること。 環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。 残余廃棄物

汚染容器及び包装 空容器を再利用しないこと。

14. 輸送上の注意

規制対象外 **IMDG** <u>ADR</u> 規制対象外 規制対象外 <u>IATA</u> 日本 規制対象外

15. 適用法令

国内規制

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) 該当しない。...

労働安全衛生法

該当しない **通知対象物質**

該当しない

表示対象物質

該当しない

毒物及び劇物取締法

該当しない

消防法:

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律(化審法)

海洋汚染及び海上災害の防止に関する法律

該当しない

国際規制

残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約 該当しない

ロッテルダム条約 該当しない

16. その他の情報

JGHS / JP ページ 6/7

作成者 改訂日

Bio-Rad Laboratories, Environmental Health and Safety

2024-03-13

改訂記録 既存情報のレビューとマイナー更新済。

安全データシート で使用されている略語及び頭文字のキー又は凡例

<u>凡例 項目8: ばく 露防止及び保護措置</u> TWA TWA(時間加重平均)

経皮吸収

天井値

最大限界值 感作性物質

本SDSの編集に使用した主要参考文献及びデータ源

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR) 米国環境保護庁ChemViewデータベース

欧州化学品局 欧州食品安全機関(EFSA)

EPA (米国環境保護庁) 急性ばく露ガイドラインレベル(AEGL) 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法 米国環境保護庁高生産量化の関係のでは、

不国現場保護リーラング (Food Research Journal) フードリサーチジャーナル (Food Research Journal) 危険有害性物質データベース (IUCLID) 国際統一化学情報データベース (IUCLID) 日本政府による GHS 分類 オーストラリア 国家工業化学品届出審査機構(NICNAS) NIOSU(米国党) 原文 (英田東京家)

NIOSH(米国労働安全衛生研究所)

NIOSH(未国労働安全衛生研究所) 米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP) 米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed) 米国国家毒性プログラム(NTP) ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID) 経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書 経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム 経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット 世界保健機構

世界保健機構

免責事項

不見事場 このSDSは、JIS Z 7252:2019及びJIS Z 7253:2019の要件に準拠している。このSDSに記載されている内容は、発行日時点の知見、 情報に基づき正確を期したものです。ここに記載されている情報は当該製品の安全な取扱い、使用、加工処理、保管、運搬、廃 棄、漏えい(洩)時の処理など指針とすることのみを目的としたものであり、いかなる保証をするものではなく、また品質仕様では ありません。本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの材料と組み合わせて使用した場合、又は何らかのプロセスに使用 した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート のおわり

ページ 7/7